



おはなしの

マッチ箱



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。
この箱が、さまざまな花を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

2月のストーリーテリング勉強会

2017年2月8日 (水) 9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：9人

場所：高知県立図書館 児童図書研究室 (子ども読書室奥)

次回の勉強会は
3月8日 (水)

9:30~12:00

場所：当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

1 屋根がチーズでできた家

6~7分

『子どもに語る北欧の昔話』(福井 信子、湯沢 朱実/編訳 こぐま社) より

【語り手から】

「ハンゼルとグレーテル」と似たようなおはなしです。子どもたちとトロール女とのやり取りが面白いので、テンポよく語りたいと思います。

2 赤鬼エティン

17分

『おはなしのろうそく15』(東京子ども図書館/編・発行) より

【語り手から】

本番頑張ります。

3 おおかみの眉毛

5分

『子どもに語る日本の昔話1』(稲田 和子、筒井 悦子/著 こぐま社) より

【語り手から】

三学期、高学年で語りたいと思って覚えている途中です。短いおはなしは難しいね。人前で話すのはまだ時間がかかりそうです。

4 六人男、世界をのし歩く

20分

『子どもに語るグリムの昔話2』(佐々梨代子、野村法/訳 こぐま社) より

【語り手から】

大ボラ満載のこのお話は、小学3、4年生の特に男の子に人気があります。語り手がこのウソっぽいおかしさをふくらませて、のせすぎてしまうと、かえって聞き手はひいてしまうこともあるので淡々とリズムよくを心掛けています。

5 名人4人兄弟

16分

『ホシおばさん』(グリム/著、石井 桃子ほか/再話 子ども文庫の会) より

【語り手から】

子どもにまだ語っていないので、子どもたちと楽しみながらおはなしをふくらませていきたいです。

6 エパミナンダス

7~8分

『おはなしのろうそく1』(東京子ども図書館/編・発行) より

【語り手から】

小学2、3年生に話したらとても喜んでくれた。自信がなかったが、面白い話なのだ実感できた。

7 北斗七星

3分

『おはなしのろうそく25』(東京子ども図書館/編・発行) より

【語り手から】

この話の持つ世界感を大切に語りたいです。

おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。